

癌化学療法 投与計画書（新規・変更）

加行番号

提出日

氏 名

主治医:

生年月日

性別

病名: 再発又は難治性の多発性骨髄腫

患者本人へ説明した内容:

プロトコル名: Isa単独療法

クール目

開始日

次回予定日

身長(cm)

体重(kg)

体表面積 (m²)

確認事項

点滴: 0.2 μ m又は0.22 μ mのフィルターを使用すること

						DAY 1	...	DAY 8	...	DAY 15	...	DAY 22	標準投与量
薬品名	プロトコル標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月 0日		1月 7日		1月 14日		1月 21日	
1 レスタミンコーワ錠(10mg)		5錠	経口	30分	サークリサ開始 15~60分前投与	○		(○)		○		(○)	サークリサ mg
カロナール錠(200mg)		5錠	経口			○		(○)		○		(○)	
2 生理食塩液		100mL	点滴			○		(○)		○		(○)	
ガスター注20mg		1A	点滴			○		(○)		○		(○)	
ソル・メドロール注	125mg	1A	点滴			○		(○)		○		(○)	
3 生理食塩液		50mL	点滴	5分		○		(○)		○		(○)	
4 生理食塩液		500mL	点滴	初回: 25ml/hr(60min)→ 50ml/hr(30min)→以降30 分毎に25ml/hrずつ増量 し150ml/hrまで可	全量が500mLになるよ うに薬剤室で調節	○		(○)		○		(○)	
サークリサ点滴静注	20mg/kg		点滴	2回目: 50ml/hr(30min)→ 100ml/hr(30min)→以降 200ml/hr 3回目以降: 200ml/hr		○		(○)		○		(○)	
5 生理食塩液		50mL	点滴	15分		○		(○)		○		(○)	

※網掛け部分にご記入ください。

※Infusion reaction発現時の対応は、添付文書参照。

◎臨床試験では、生食250ml/バッグにIsa:10mg/kgを加えて調製したバッグ2つを更新して投与していたが、MRより、生食500mlを用いて1バッグで投与している施設もあると情報あり、当院でも同様に上記の投与法で実施する方針となった。
(理論上濃度が同一になるので問題ないと判断したため)

1サイクル: 28日
投与日: サークリサ(1サイクル目) day1,8,15,22
サークリサ(2サイクル目以降) day1,15

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。